

令和7年度宮本常一「あるく・みる・きく」コンクール審査発表

ふるさとの歴史や地域の変遷への興味・関心を高め、これからの中の社会の中で自信をもつて活躍できる人に育つて

いってほしいという願いのもと、「宮本常一『あるく・みる・きく』コンクール」を実施しました。対象は町内の中小学生です。受賞された方は次の皆さんです。

「おいしいみかんの
ひみつをさぐろう」
明新小学校3年生の皆さん

「むかしのことをしりたいな」
島中小学校1年
齋藤 香蓮さん

「わたしたちの
周防大島のひみつ」
久賀小学校3年生の皆さん

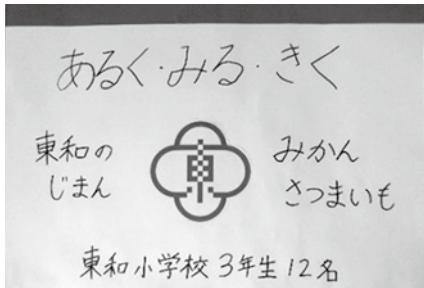
「外入の今昔MAP」
東和小学校3年
木元 咲希さん

「はたらく人に話を聞いたよ」
レポート」
安下庄小学校2年生の皆さん

受賞作品は、宮本常一記念館において、1月13日(火)から27日(火)まで展示します。子どもたちが先人の偉業や地域から学び、これからも大きく成長していくことを願っています。

問い合わせ

教育委員会学校教育課
0820(7)2204



元気ですか?
こちゅうは 保健師です
?

地域包括支援センター
保健師 中本奈美
0820(7)5506

介護予防に取り組んでいます!

私は、昨年の4月から地域包括支援センターに勤務し、東和地区を担当しています。地域

包括支援センターは、高齢者の総合相談窓口となつており、毎日たくさんのお電話がかかってきます。高齢者やご家族から健康や生活面の困りごとについて相談を受け、必要な情報

をお伝えしたり、実際に家庭訪問をして心身の状況や生活環境、思いなどを把握した上で、介護保険サービス等の利用につなげています。

悩みや不安を感じていた高齢者が、生活環境を整えたり、その人に合った支援を受けられるようになつたことで、安心して在宅で過ごせるようになつた時、とても嬉しい気持ちになります。

本町は少子高齢化が進み、一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦の世帯が多い町です。ご家族が遠方におられる人も多く、認知機能の低下による生活のしづらさや、点在する集落、地理的状況から運転免許証を返納した後の通院や買い物の難しさがあるなど、さまざまな課題を抱えています。そのため住み慣れた地域で生活を続けていく上で、普段のご近所付き合いや、暮らしを支える人々とのつながりの大切さを改めて実感したり、多職種や関係

機関、他部署と課題を共有し連携していく必要性を感じています。

また、地域包括支援センターでは、一人でも多くの高齢者ができるだけ介護を必要とせず、元気に自分らしく過ごせるよう、介護予防に取り組んでいます。町内のサロンや集会等で健康相談や介護予防に関する講話を行っており、東和病院のリハビリの先生と考案した「すおうおおしまお元気いきいき体操」も

体験してもらっています。アイキャンでも放送されているので、既にご存知の人もいらっしゃると思いますが、この度、新しく冊子と動画DVD(貸し出し用)を作成しました。この体操は、ご家庭や地域の集まりで気軽に取り組むことができ、日常生活動作の改善を目指した内容となっています。たくさんの人々が活用いただければ嬉しいです。ご希望の人には、地域包括支援センターにぜひご連絡ください。



※「すおうおおしまお元気いきいき体操」のQRコードを元気いきいき体操を視聴することができます。